

令和2年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	05	08	104560	民俗芸能伝承支援事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	05 芸術文化の振興		
	施策	04	民俗芸能の伝承				
目的	民俗芸能の保存伝承						
対象	民俗芸能を伝承する団体及びその伝承者、後援会等の支援者、地域住民						
意図	伝承者の育成を支援し、民俗芸能の保存と地域への人の定着を図る。						
事業概要	郷土芸能鑑賞会の開催 0千円 花巻市郷土芸能鑑賞会、花巻市青少年郷土芸能フェスティバル等 新型コロナにより中止 民俗芸能全国組織への参加 15千円 全国民俗芸能保存振興市町村連盟への加盟 民俗芸能団体との意見交換会の開催等 46千円 現状と課題の把握及び課題解決策の検討 小中学校への民俗芸能普及の支援 200千円 小中学校での民俗芸能鑑賞会の開催（全4回）						
市民参加の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	H31	R02	R03
1	郷土芸能鑑賞会の事業実施数		回	計画	5.00	5.00	
				実績	5.00	0.00	
2	民俗芸能団体の支援を行うコミュニティ会議の数		地区	計画	27.00	27.00	
				実績	16.00	12.00	
3				計画			
				実績			
成果指標			単位	区分	H31	R02	R03
1	郷土芸能鑑賞会の入場者数		人	目標	2,200.00	2,200.00	
				実績	2,340.00		
2	無形民俗文化財(民俗芸能)の指定数		件	目標	56.00	56.00	
				実績	55.00	55.00	
3				目標			
				実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
郷土芸能鑑賞会の実施数及び入場者数については、全5回の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全公演を中止したため、実績値なしとなった。 無形民俗文化財（民俗芸能）の指定数については、伝承者が指定を受けていることを強く意識し、後継者の育成に努めているため、現状数を維持できているものと思料する。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	郷土芸能鑑賞会は市主催事業であり、各地域で伝承活動を実践する民俗芸能団体や、学校教育の一環として民俗芸能を積極的に取り入れている学校等が出演している。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	地域や学校等が積極的に民俗芸能保存団体並びに伝承者を支援することにより、発表機会の創出、保存意識の向上につながる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	民俗芸能伝承活動に対する積極的な支援が、地域コミュニティ維持の一助ともなっていることから、経費削減は地域の沈滞を招き、市にとってマイナスとなる。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市の広報紙やホームページ、各地域の振興センターや公共施設等を通じ、公平な情報の提供に努めている。郷土芸能鑑賞会の出演団体選定にあたっては、地域バランスを考慮しながら各地域の民俗芸能団体等に呼びかけを行い、公平性に努めている。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、民俗芸能の発表の機会となる「郷土芸能鑑賞会」等を開催することはできなかったが、新規事業の「小中学校での民俗芸能鑑賞会」により、発表の場を確保するとともに、児童生徒に民俗芸能へ直接触れる機会を提供することができた。 また、民俗芸能団体との意見交換会の開催により、各団体が抱える課題を把握し、その課題解決に向けた方策を団体と一緒に考えることができた。
	次年度に向けて	民俗芸能の保存伝承のためには、市民への普及を図ることと、継承者のモチベーションを高めるため、公演の機会を設けることが重要であると考え。新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を取りながら、公演事業を実施していく。 特に、将来の後継者となることが期待される青少年の、民俗芸能の伝承・普及活動が重要と考えことから、青少年の公演を継続するとともに、小中学校への民俗芸能の普及の機会を設けることとする。